

上吉公民館長寿命化改修工事

設計図

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

三重郡川島町大字高松(上吉) 地内

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一	備考
公民館					

3. 工事種目(○印のつづいたものを適用する)

建物別及び屋外工事種目	公民館	工	事	種	別
○電灯設備	改修一式				
○動力設備	改修一式				
・電気自動車用充電設備					
・電気設備					
・消火設備					
・受変電設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
○誘導支援設備	改修一式				
○テレビ共同受信設備	改修一式				
・監視カメラ設備					
・駐車場管理設備					
・防犯・入退室管理設備					
○火災報知設備	改修一式				
・中央監視制御設備					
・					
・構内配電線路					
・構内通信線路					
・テレビ電波障害除去工事					
・					
・建築工事					
・機械設備工事					

4. 指定部分

○無・有

対象部分(指定部分工期

令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁庁章標明決定の下記仕様書等のうち、○印のつづいたものによる。

- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)

2. 特記仕様

項目及び特記事項は○印のつづいたものを適用する。

項目	特記事項
1 適用区分	建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 <ul style="list-style-type: none">風圧力 風速(V=34m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)<ul style="list-style-type: none">積雪荷重 垂直積雪量(0.3m)
② 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。 <ul style="list-style-type: none">① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コア材、接合材、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、防雨材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に該当する材料を使用する。② 接着剤及び塗料は、ルエレン、キシレン及びニチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等)を含有しない難燃発煙の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。④ ①の材料を使用し、て作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の1又は2に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3又は4に該当する材料を指す。 <ul style="list-style-type: none">① 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料② 建築基準法施行令第20条の7 第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料③ 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料④ 建築基準法施行令第20条の7 第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (3) 「国庫による環境物品等の調達に関する法(注)」に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成27年閣議決定)」による。

項目

特記事項

③ 材料・機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の1から5すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は保証機関が発行する品質及び性能等が認められことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③ 安易な供給が可能であること。

④ 法令等が定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

④ 電源周波数

・ 50Hz

○ 60Hz

⑤ 電気工作物の種類

・ 事業用電気工作物

○ 一般用電気工作物

電気保安技術者

・ 要

・ 不要

契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

6 電気工事士

すべて受注者の負担とする。

構内につづけることが

・ できる

・ できない

⑧ 足場その他

○ 別添資料の別添受注者が指定したものは、無償で使用できる。

・ 本工事で設置とする。(改修標準仕様書 第1編 2.2.2による注を下記とする。)

・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・ 内部足場の移動(種)

・ 外部足場の移動(種)

9 仮設設備工事

仮設備期間(・ 図示

・)

仮電源等(・ 受変電設備

・ 発電設備

○ 図示

・)

10 養生

養生範囲(・

・

・)

養生方法(・

・

・)

⑪ 施工調査

○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に定式式図説調査を行うこと。

・ 石綿含有分析調査(定性分析より石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。)

・ 既設設備調査等を切断または接続する箇所は、事前に3次調査を行うこと。

12 非破壊検査等

構造部等の規模および箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を出す。なお、放射線透過検査による場合は規格とし、検出枚数は、1枚以上1部位とする。

⑬ 穿孔作業

既存躯体に穿孔する場合は金属部はより電源供給が停止できる付置装置を使用する。

14 耐震安全性の分類と耐震施工

(1) 設備機器、電気配線の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備新設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。(100kg以上の機器を対象とする。)

1) 設計用水平地震力
機器の重量(kN)に、設計用水平地震度を乗じたものとする。
なお特記なき場合、設計用水平地震度は次のとおり。

設計用水平地震度

設置場所	機器種別	○ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び屋根	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは、2～6階階の場合は最上階、7～9階階の場合は上層2階、10～12階階の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
中層階とは、地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

重要機器

・ 配電盤

・ 発電装置

・ 直流電源装置

・ 交流無停電電源装置

・ 交換機

・ 火災報知受信機

・ 中央監視制御装置

・ キュービクル

・ その他()

2) 設計用垂直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同様に働くものとする。

項目

特記事項

15 建設発生土の処理

・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所へ敷きならしとする。

・ 構内埋戻し等の処理は、

※建設発生土を搬出する場合、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地の民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。

16 電線本数 管路等

分電盤、制御盤及び端子箱等の二次配時に際しては、配線は、経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。
また、機械室等の床面配管は図面上1F管で記載している場合であっても、立上り部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接合部を設ける。

⑰ 金属製配線管の塗装・仕上げ

下地の金属製配線管の露出部分に塗装、めっき等の仕上を行う。

○ 屋外(内外面両面塗装とメッキ仕上げ箇所・全て(塗装箇所を除く))

○ 屋内(内外面両面塗装とメッキ仕上げ箇所・地階、ビートル)

・ 塗装(・ 屋内・ 屋外・ 全て・ 図示)

⑱ フラッシュプレート

図面に特記なき場合は、○ 金属製(ステンレス、新金属も含む) ・ 樹脂製 とする。

19 電線類

EMUPケーブルは、用途に応じ色分けすること。

20 二重床内器具

二重床内に設置する器具の位置として、マーキングを直上の天井面に付けること。
また、用途に応じ色分けすること。

21 インバータ装置の稼働効率

三相可変速電動機用インバータ装置の稼働効率は次の数値以上とする。

電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
稼働効率(%)	88.5	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

備考(1) 稼働効率は、IEF-TF945「汎用インバータの稼働効率」により算出した値とする。
(2) 稼働効率は、45.0×212「高効率低圧三相可変速電動機」の定格電圧200V、1P×、6極、50%の電動機を参照したときの値とする。

22 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

電動機

定格出力(kW)	定格電流(A)	器具容量、コンデンサ回路の電線		エデン回路		エデン[μF]				
		配線用遮断器等(A)	電圧計(A)	接続する電線の最小太さ(mm)		エデン[μF]				
				EMIE	IV	長さ3m以下	50% 60%			
0.2	1.8	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	15	10
0.4	3.2	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	20	15
0.75	4.8	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	30	20
1.5	8	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	40	30
2.2	11.1	40	—	20	10	2.0	2.0	2.0	50	40
3.7	17.4	75	—	30	20	2.0	2.0	2.0	75	50
5.5	26	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	100	75
7.5	34	125	75	60	50	3.5	5.5	2.0	150	100
11	46	125	125	75	60	8.0	14	2.0	200	150
15	65	125	150	125	60	8.0	14	2.0	250	200
18.5	79	150	175	125	100	14	22	3.5	300	250
22	93	175	200	150	100	14	22	3.5	400	300
30	124	250	300	200	150	14	22	5.5	500	400
37	152	300	350	225	200	14	22	8.0	600	500
45	190	400	450	300	200					
55	228	450	500	350	250					

電動機

定格出力(kW)	定格電流(A)	器具容量、コンデンサ回路の電線		エデン回路		エデン[μF]				
		配線用遮断器等(A)	電圧計(A)	接続する電線の最小太さ(mm)		エデン[μF]				
				EMIE	IV	長さ3m以下	50% 60%			
0.2	0.9	15	—	—	3	2.0	2.0	2.0	5	5
0.4	1.6	15	—	15	3	2.0	2.0	2.0	5	5
0.75	2.4	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	7.5	5
1.5	4	15	—	15	5	2.0	2.0	2.0	10	7.5
2.2	5.5	20	—	15	10	2.0	2.0	2.0	15	10
3.7	8.7	30	—	15	10	2.0	2.0	2.0	20	15
5.5	13	40	30	30	15	2.0	2.0	2.0	25	20
7.5	17	75	40	30	20	2.0	3.5	2.0	40	25
11	24	100	60	50	30	3.5	5.5	2.0	50	40
15	32	125	75	60	30	3.5	5.5	2.0	75	50
18.5	39	125	100	75	60	3.5	5.5	2.0	75	75
22	46	125	100	100	60	8.0	14	2.0	100	75
30	62	125	150	125	60	8.0	14	2.0	125	100
37	76	150	175	125	100	8.0	14	3.5	150	125
45	95	200	225	150	100	8.0	14	3.5	200	150
55	115	225	300	175	150	14	22	5.5	250	200
75	155	300	350	225	150	14	22	8.0	300	250
90	180	350	400	300	200	22	38	8.0	300	250
110	220	450	500	350	250	22	38	8.0	397	300

② 接地極

接地極の材料は下記による。なお、接地極E(B14φ)の長さ(は1,500mm以上とし、10φはW=30 L=900mm以上、14φは、W=40 L=1,200mm以上としても差し支えない。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極(参考)
・ 共用接地	E _{共用}	Ω以下	E(B14φ)×3連～3組
・ 共用接地	E _{共用}	10Ω以下	E(B14φ)×3連～3組
・ A種	E _A	10Ω以下	E(B14φ)×3連～2組
・ B種	E _B	Ω以下	E(B14φ)×3連～2組
・ C種	E _C	100Ω以下	E(B10φ)×1(L=1,000mm)
・ D種	E _D	10Ω以下	E(B14φ)×3連～2組
・ 高圧避雷器用	E _高	10Ω以下	E(B14φ)×3連～3組
・ 低圧避雷器用	E _低	10Ω以下	E(B14φ)×1(L=1,000mm)
・ 構造体接地			
・ 交換機用	E _機	10Ω以下	E(B14φ)×3連～3組
・ 通信用	E _通	10Ω以下	E(B14φ)×3連～3組
・ 通信用	E _通	100Ω以下	E(B10φ)×1(L=1,000mm)
・ 電話出口の保安用	E _電	100Ω以下	E(B10φ)×1(L=1,000mm)
・ 測定用	E _測		E(B10φ)×1(L=1,000mm)

24 天井仕上表示

図面において、室名に()を付したものは天井井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。

名	取付高さ
ブラケット(一般)	床～中心
” (照明)	2,500
” (鏡上)	鏡上端～中心
スイッチ(一般)	床～中心
” (多機能使用用)	1,200
自動スイッチ(照明、換気用等)	1,800
エレハ、電話用アクト、乳幼児椅子(一般)	300
” (和室)	150
” (台上)	150
コンセント(土間)	床～中心
コンセント(電動車用充電用)	800～1,300
コンセント(電動車用充電用)	900
引き継ぎ用箱(低圧)	床～上端
分電盤、制御盤、実験盤	床～中心
開閉器箱	1,500(上端1,900以下)
電磁開閉器用押しボタン	1,200
接地用端子箱	地上、床～中心
誘電用接続端子箱	床～下端
接地線接続箱	地上～中心
給油ボックス	地上～給油口
室内端子箱、廊下、室内	床～下端
中間端子箱(EPS・電気室)	床～中心
計測用端子箱	1,200
観時計	1,500(上端1,900以下)
子時計、スピーカ	”(天井高)×0.9
アッテネータ	”(天井高)×0.9
表示盤	”(天井高)×0.9
発信機(出退表示用)	1,200
外部受付用インターホン(子機)	標準図による
壁付インターホン(上記以外)	1,100
呼出ボタン(多機能使用用)	900
復帰ボタン(”)	1,300
廊下表示灯(”)	2,000
テレビ機器受信箱	天井下～上端
火報受信機(複合機)	床～操作部
副受信機	800～1,500
機器受信箱(火災報知設備)	床～中心
発信機	800～1,500
警報ベル	”(天井高)×0.9
表示灯(火災報知設備)	”(天井高)×0.8
運動検知器(自動警報)	1,500
ガス漏れ検知器(ガス)	300
ガス漏れ検知器(ガス)	天井面～中心
	(天井高)～200

(参考) 天井面を基準とする取付高さ、天井高さが2,500mmから3,000mmの場合に適用する。
天井高さが3,000mm以上の場合及び機器の使用と干渉が生じる場合は、監督職員と協議する。

25 他工事又は他工種との取り扱い

工事区分欄による。ただし、これより異なる場合は、監督職員と協議する。

項目

特記事項

1 適用区分

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

- 風圧力
風速(V=34m/s)
地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
 - 積雪荷重
垂直積雪量(0.3m)

② 環境への配慮

(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。

- ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コア材、接合材、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、防雨材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に該当する材料を使用する。
- ② 接着剤及び塗料は、ルエレン、キシレン及びニチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等)を含有しない難燃発煙の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
- ④ ①の材料を使用し、て作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の1又は2に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3又は4に該当する材料を指す。

- ① 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- ② 建築基準法施行令第20条の7 第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- ③ 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- ④ 建築基準法施行令第20条の7 第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(3) 「国庫による環境物品等の調達に関する法(注)」に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成27年閣議決定)」による。

項目

特記事項

③ 材料・機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の1から5すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は保証機関が発行する品質及び性能等が認められことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③ 安易な供給が可能であること。

④ 法令等が定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

④ 電源周波数

・ 50Hz

○ 60Hz

⑤ 電気工作物の種類

・ 事業用電気工作物

○ 一般用電気工作物

電気保安技術者

・ 要

・ 不要

契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

6 電気工事士

すべて受注者の負担とする。

構内につづけることが

・ できる

・ できない

⑧ 足場その他

○ 別添資料の別添受注者が指定したものは、無償で使用できる。

・ 本工事で設置とする。(改修標準仕様書 第1編 2.2.2による注を下記とする。)

・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・ 内部足場の移動(種)

・ 外部足場の移動(種)

9 仮設設備工事

仮設備期間(・ 図示

・)

仮電源等(・ 受変電設備

・ 発電設備

○ 図示

・)

10 養生

養生範囲(・

・

・)

養生方法(・

・

・)

⑪ 施工調査

○ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に定式式図説調査を行うこと。

・ 石綿含有分析調査(定性分析より石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。)

・ 既設設備調査等を切断または接続する箇所は、事前に3次調査を行うこと。

12 非破壊検査等

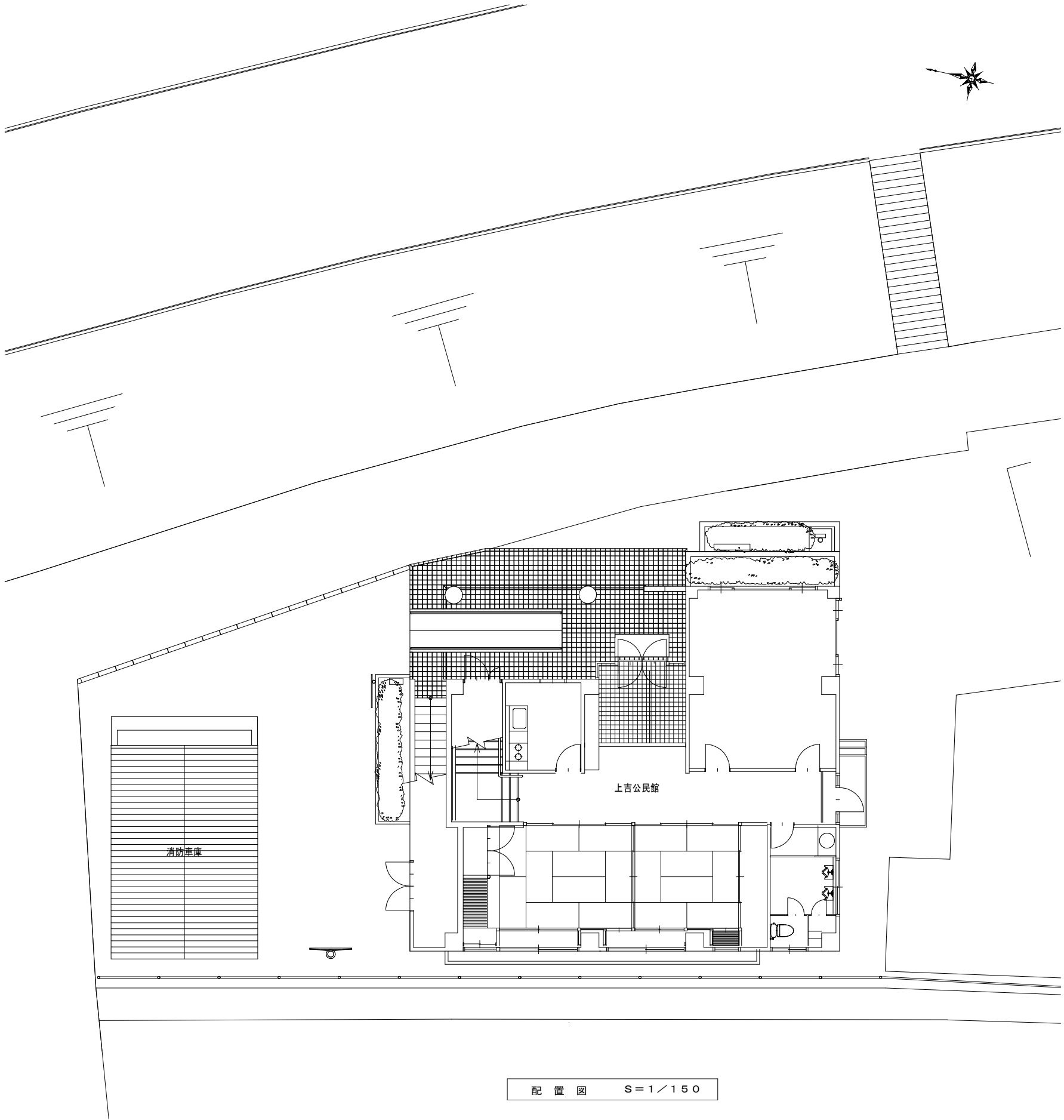
構造部等の規模および箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を出す。なお、放射線透過検査による場合は規格とし、検出枚数は、1枚以上1部位とする。

⑬ 穿孔作業

既存躯体に穿孔する場合は金属部はより

項 目		特 記 事 項		項 目		・ アスベスト 含有物の取り扱い	
27	工事用電力、水等	28	産業廃棄物税	29	工事の保険	30	建設共済等
31	工事実施情報	32	施工体制台帳の提出	33	監督職員事務所	34	完成時の提出図書
35	発生材の処理	36	工事記録	37	銅製電線管	38	呼び線
39	再使用機器	40	タンブラスイッチ	41	配線器具等	42	機器仕様
43	合成樹脂管配線	44	位置ボックス	45	最上階の埋込配管	46	配設との取合い
47	自家発電設備の配管工事等	48	地中配線の埋設深さ等	49	施工条件	50	地中配線の埋設標
51	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	52	一般照明の照度測定	53	施工図等の取扱い	54	完成時の提出図書
55	監督職員事務所	56	完成時の提出図書	57	銅製電線管	58	呼び線
59	再使用機器	60	タンブラスイッチ	61	配線器具等	62	機器仕様
63	合成樹脂管配線	64	位置ボックス	65	最上階の埋込配管	66	配設との取合い
67	自家発電設備の配管工事等	68	地中配線の埋設深さ等	69	施工条件	70	地中配線の埋設標
71	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	72	一般照明の照度測定	73	施工図等の取扱い	74	完成時の提出図書
75	監督職員事務所	76	完成時の提出図書	77	銅製電線管	78	呼び線
79	再使用機器	80	タンブラスイッチ	81	配線器具等	82	機器仕様
83	合成樹脂管配線	84	位置ボックス	85	最上階の埋込配管	86	配設との取合い
87	自家発電設備の配管工事等	88	地中配線の埋設深さ等	89	施工条件	90	地中配線の埋設標
91	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	92	一般照明の照度測定	93	施工図等の取扱い	94	完成時の提出図書
95	監督職員事務所	96	完成時の提出図書	97	銅製電線管	98	呼び線
99	再使用機器	100	タンブラスイッチ	101	配線器具等	102	機器仕様
103	合成樹脂管配線	104	位置ボックス	105	最上階の埋込配管	106	配設との取合い
107	自家発電設備の配管工事等	108	地中配線の埋設深さ等	109	施工条件	110	地中配線の埋設標
111	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	112	一般照明の照度測定	113	施工図等の取扱い	114	完成時の提出図書
115	監督職員事務所	116	完成時の提出図書	117	銅製電線管	118	呼び線
119	再使用機器	120	タンブラスイッチ	121	配線器具等	122	機器仕様
123	合成樹脂管配線	124	位置ボックス	125	最上階の埋込配管	126	配設との取合い
127	自家発電設備の配管工事等	128	地中配線の埋設深さ等	129	施工条件	130	地中配線の埋設標
131	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	132	一般照明の照度測定	133	施工図等の取扱い	134	完成時の提出図書
135	監督職員事務所	136	完成時の提出図書	137	銅製電線管	138	呼び線
139	再使用機器	140	タンブラスイッチ	141	配線器具等	142	機器仕様
143	合成樹脂管配線	144	位置ボックス	145	最上階の埋込配管	146	配設との取合い
147	自家発電設備の配管工事等	148	地中配線の埋設深さ等	149	施工条件	150	地中配線の埋設標
151	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	152	一般照明の照度測定	153	施工図等の取扱い	154	完成時の提出図書
155	監督職員事務所	156	完成時の提出図書	157	銅製電線管	158	呼び線
159	再使用機器	160	タンブラスイッチ	161	配線器具等	162	機器仕様
163	合成樹脂管配線	164	位置ボックス	165	最上階の埋込配管	166	配設との取合い
167	自家発電設備の配管工事等	168	地中配線の埋設深さ等	169	施工条件	170	地中配線の埋設標
171	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	172	一般照明の照度測定	173	施工図等の取扱い	174	完成時の提出図書
175	監督職員事務所	176	完成時の提出図書	177	銅製電線管	178	呼び線
179	再使用機器	180	タンブラスイッチ	181	配線器具等	182	機器仕様
183	合成樹脂管配線	184	位置ボックス	185	最上階の埋込配管	186	配設との取合い
187	自家発電設備の配管工事等	188	地中配線の埋設深さ等	189	施工条件	190	地中配線の埋設標
191	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	192	一般照明の照度測定	193	施工図等の取扱い	194	完成時の提出図書
195	監督職員事務所	196	完成時の提出図書	197	銅製電線管	198	呼び線
199	再使用機器	200	タンブラスイッチ	201	配線器具等	202	機器仕様
203	合成樹脂管配線	204	位置ボックス	205	最上階の埋込配管	206	配設との取合い
207	自家発電設備の配管工事等	208	地中配線の埋設深さ等	209	施工条件	210	地中配線の埋設標
211	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	212	一般照明の照度測定	213	施工図等の取扱い	214	完成時の提出図書
215	監督職員事務所	216	完成時の提出図書	217	銅製電線管	218	呼び線
219	再使用機器	220	タンブラスイッチ	221	配線器具等	222	機器仕様
223	合成樹脂管配線	224	位置ボックス	225	最上階の埋込配管	226	配設との取合い
227	自家発電設備の配管工事等	228	地中配線の埋設深さ等	229	施工条件	230	地中配線の埋設標
231	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	232	一般照明の照度測定	233	施工図等の取扱い	234	完成時の提出図書
235	監督職員事務所	236	完成時の提出図書	237	銅製電線管	238	呼び線
239	再使用機器	240	タンブラスイッチ	241	配線器具等	242	機器仕様
243	合成樹脂管配線	244	位置ボックス	245	最上階の埋込配管	246	配設との取合い
247	自家発電設備の配管工事等	248	地中配線の埋設深さ等	249	施工条件	250	地中配線の埋設標
251	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	252	一般照明の照度測定	253	施工図等の取扱い	254	完成時の提出図書
255	監督職員事務所	256	完成時の提出図書	257	銅製電線管	258	呼び線
259	再使用機器	260	タンブラスイッチ	261	配線器具等	262	機器仕様
263	合成樹脂管配線	264	位置ボックス	265	最上階の埋込配管	266	配設との取合い
267	自家発電設備の配管工事等	268	地中配線の埋設深さ等	269	施工条件	270	地中配線の埋設標
271	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	272	一般照明の照度測定	273	施工図等の取扱い	274	完成時の提出図書
275	監督職員事務所	276	完成時の提出図書	277	銅製電線管	278	呼び線
279	再使用機器	280	タンブラスイッチ	281	配線器具等	282	機器仕様
283	合成樹脂管配線	284	位置ボックス	285	最上階の埋込配管	286	配設との取合い
287	自家発電設備の配管工事等	288	地中配線の埋設深さ等	289	施工条件	290	地中配線の埋設標
291	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	292	一般照明の照度測定	293	施工図等の取扱い	294	完成時の提出図書
295	監督職員事務所	296	完成時の提出図書	297	銅製電線管	298	呼び線
299	再使用機器	300	タンブラスイッチ	301	配線器具等	302	機器仕様
303	合成樹脂管配線	304	位置ボックス	305	最上階の埋込配管	306	配設との取合い
307	自家発電設備の配管工事等	308	地中配線の埋設深さ等	309	施工条件	310	地中配線の埋設標
311	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	312	一般照明の照度測定	313	施工図等の取扱い	314	完成時の提出図書
315	監督職員事務所	316	完成時の提出図書	317	銅製電線管	318	呼び線
319	再使用機器	320	タンブラスイッチ	321	配線器具等	322	機器仕様
323	合成樹脂管配線	324	位置ボックス	325	最上階の埋込配管	326	配設との取合い
327	自家発電設備の配管工事等	328	地中配線の埋設深さ等	329	施工条件	330	地中配線の埋設標
331	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	332	一般照明の照度測定	333	施工図等の取扱い	334	完成時の提出図書
335	監督職員事務所	336	完成時の提出図書	337	銅製電線管	338	呼び線
339	再使用機器	340	タンブラスイッチ	341	配線器具等	342	機器仕様
343	合成樹脂管配線	344	位置ボックス	345	最上階の埋込配管	346	配設との取合い
347	自家発電設備の配管工事等	348	地中配線の埋設深さ等	349	施工条件	350	地中配線の埋設標
351	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	352	一般照明の照度測定	353	施工図等の取扱い	354	完成時の提出図書
355	監督職員事務所	356	完成時の提出図書	357	銅製電線管	358	呼び線
359	再使用機器	360	タンブラスイッチ	361	配線器具等	362	機器仕様
363	合成樹脂管配線	364	位置ボックス	365	最上階の埋込配管	366	配設との取合い
367	自家発電設備の配管工事等	368	地中配線の埋設深さ等	369	施工条件	370	地中配線の埋設標
371	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	372	一般照明の照度測定	373	施工図等の取扱い	374	完成時の提出図書
375	監督職員事務所	376	完成時の提出図書	377	銅製電線管	378	呼び線
379	再使用機器	380	タンブラスイッチ	381	配線器具等	382	機器仕様
383	合成樹脂管配線	384	位置ボックス	385	最上階の埋込配管	386	配設との取合い
387	自家発電設備の配管工事等	388	地中配線の埋設深さ等	389	施工条件	390	地中配線の埋設標
391	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	392	一般照明の照度測定	393	施工図等の取扱い	394	完成時の提出図書
395	監督職員事務所	396	完成時の提出図書	397	銅製電線管	398	呼び線
399	再使用機器	400	タンブラスイッチ	401	配線器具等	402	機器仕様
403	合成樹脂管配線	404	位置ボックス	405	最上階の埋込配管	406	配設との取合い
407	自家発電設備の配管工事等	408	地中配線の埋設深さ等	409	施工条件	410	地中配線の埋設標
411	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	412	一般照明の照度測定	413	施工図等の取扱い	414	完成時の提出図書
415	監督職員事務所	416	完成時の提出図書	417	銅製電線管	418	呼び線
419	再使用機器	420	タンブラスイッチ	421	配線器具等	422	機器仕様
423	合成樹脂管配線	424	位置ボックス	425	最上階の埋込配管	426	配設との取合い
427	自家発電設備の配管工事等	428	地中配線の埋設深さ等	429	施工条件	430	地中配線の埋設標
431	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	432	一般照明の照度測定	433	施工図等の取扱い	434	完成時の提出図書
435	監督職員事務所	436	完成時の提出図書	437	銅製電線管	438	呼び線
439	再使用機器	440	タンブラスイッチ	441	配線器具等	442	機器仕様
443	合成樹脂管配線	444	位置ボックス	445	最上階の埋込配管	446	配設との取合い
447	自家発電設備の配管工事等	448	地中配線の埋設深さ等	449	施工条件	450	地中配線の埋設標
451	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	452	一般照明の照度測定	453	施工図等の取扱い	454	完成時の提出図書
455	監督職員事務所	456	完成時の提出図書	457	銅製電線管	458	呼び線
459	再使用機器	460	タンブラスイッチ	461	配線器具等	462	機器仕様
463	合成樹脂管配線	464	位置ボックス	465	最上階の埋込配管	466	配設との取合い
467	自家発電設備の配管工事等	468	地中配線の埋設深さ等	469	施工条件	470	地中配線の埋設標
471	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	472	一般照明の照度測定	473	施工図等の取扱い	474	完成時の提出図書
475	監督職員事務所	476	完成時の提出図書	477	銅製電線管	478	呼び線
479	再使用機器	480	タンブラスイッチ	481	配線器具等	482	機器仕様
483	合成樹脂管配線	484	位置ボックス	485	最上階の埋込配管	486	配設との取合い
487	自家発電設備の配管工事等	488	地中配線の埋設深さ等	489	施工条件	490	地中配線の埋設標
491	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	492	一般照明の照度測定	493	施工図等の取扱い	494	完成時の提出図書
495	監督職員事務所	496	完成時の提出図書	497	銅製電線管	498	呼び線
499	再使用機器	500	タンブラスイッチ	501	配線器具等	502	機器仕様
503	合成樹脂管配線	504	位置ボックス	505	最上階の埋込配管	506	配設との取合い
507	自家発電設備の配管工事等	508	地中配線の埋設深さ等	509	施工条件	510	地中配線の埋設標
511	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	512	一般照明の照度測定	513	施工図等の取扱い	514	完成時の提出図書
515	監督職員事務所	516	完成時の提出図書	517	銅製電線管	518	呼び線
519	再使用機器	520	タンブラスイッチ	521	配線器具等	522	機器仕様
523	合成樹脂管配線	524	位置ボックス	525	最上階の埋込配管	526	配設との取合い
527	自家発電設備の配管工事等	528	地中配線の埋設深さ等	529	施工条件	530	地中配線の埋設標
531	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	532	一般照明の照度測定	533	施工図等の取扱い	534	完成時の提出図書
535	監督職員事務所	536	完成時の提出図書	537	銅製電線管	538	呼び線
539	再使用機器	540	タンブラスイッチ	541	配線器具等	542	機器仕様
543	合成樹脂管配線	544	位置ボックス	545	最上階の埋込配管	546	配設との取合い
547	自家発電設備の配管工事等	548	地中配線の埋設深さ等	549	施工条件	550	地中配線の埋設標
551	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	552	一般照明の照度測定	553	施工図等の取扱い	554	完成時の提出図書
555	監督職員事務所	556	完成時の提出図書	557	銅製電線管	558	呼び線
559	再使用機器	560	タンブラスイッチ	561	配線器具等	562	機器仕様
563	合成樹脂管配線	564	位置ボックス	565	最上階の埋込配管	566	配設との取合い
567	自家発電設備の配管工事等	568	地中配線の埋設深さ等	569	施工条件	570	地中配線の埋設標
571	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	572	一般照明の照度測定	573	施工図等の取扱い	574	完成時の提出図書
575	監督職員事務所	576	完成時の提出図書	577	銅製電線管	578	呼び線
579	再使用機器	580	タンブラスイッチ	581	配線器具等	582	機器仕様
583	合成樹脂管配線	584	位置ボックス	585	最上階の埋込配管	586	配設との取合い
587	自家発電設備の配管工事等	588	地中配線の埋設深さ等	589	施工条件	590	地中配線の埋設標
591	資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	592	一般照明の照度測定	593	施工図等の取扱い	594	完成時の提出図書
595	監督職員事務所	596	完成時の提出図書	597	銅製電線管	598	呼び線
599	再使用機器	600	タンブラスイッチ	601	配線器具等	602	機器仕様
603	合成樹脂管配線	604	位置ボックス	605	最上階の埋込配管	606	配設

凡 例		
記 号	名 称	
	電 灯 壁	
	L E D 灯	
	L E D 灯	壁付
	シーリングライト	
	ダウンライト	
	ブラケット	
	スポットライト	
	非常灯	
	誘導灯	
	換気扇	機械設備工事
	スイッチ	片切
	スイッチ	表示灯付
	スイッチ	3 路
	スイッチ	4 路
	スイッチ	3 路 防水
	人感センサー	換気扇連動型
	人感センサー	親器
	人感センサー	子器
	人感センサー	換気扇連動型 子器
	センサー用切替スイッチ	2 連
	コンセント	2 P 1 5 A
	コンセント	2 P 1 5 A x 2
	コンセント	2 P 1 5 A + E T
	コンセント	2 P 1 5 A E x 2
	コンセント	
	電話受口	壁付
	直列ユニット	
	非常警報装置	



配 置 図 S = 1 / 1 5 0

・	
・	
・	
・	

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第 1 - 8 6 1 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者
一級建築士
No.352551
田端進也

設計担当者
一級建築士
No.332033
構造設計一級建築士
No.8984
井上貴智

一級建築士
No.372093
南 賢治

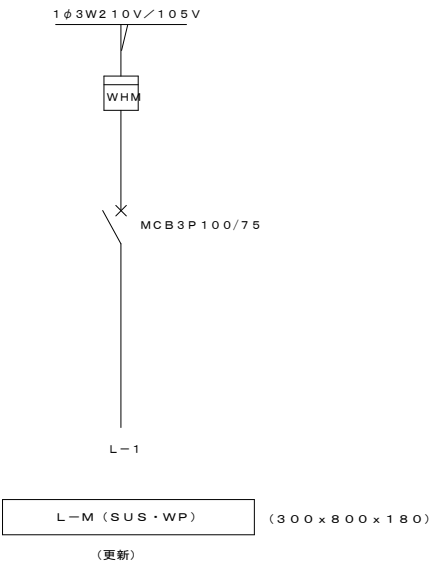
SCALE
A3 : 1/150
DATE
R5.3

工事名称 上吉公民館長寿命化改修工事


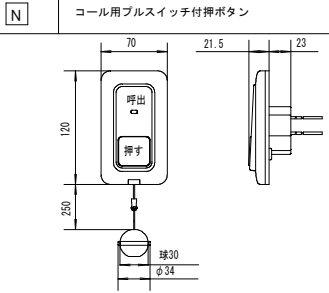
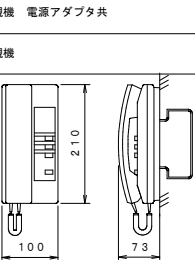
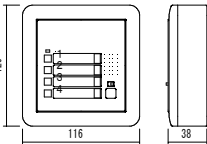
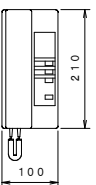
図面名称 凡例・配置図

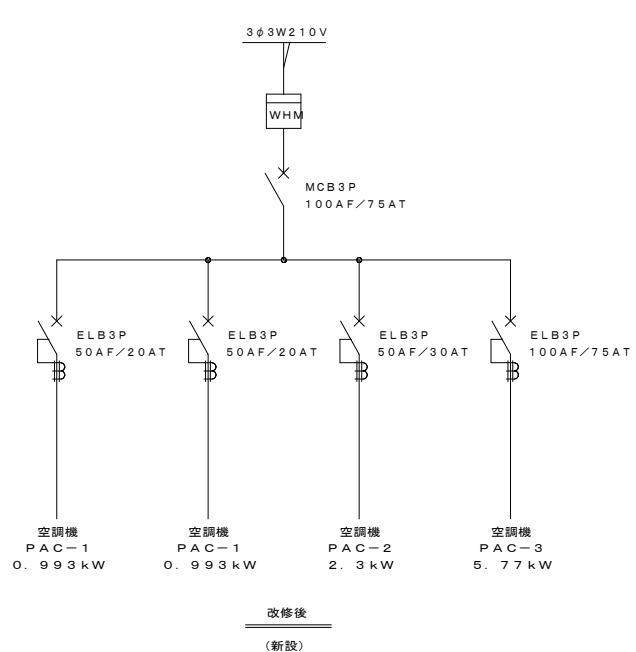
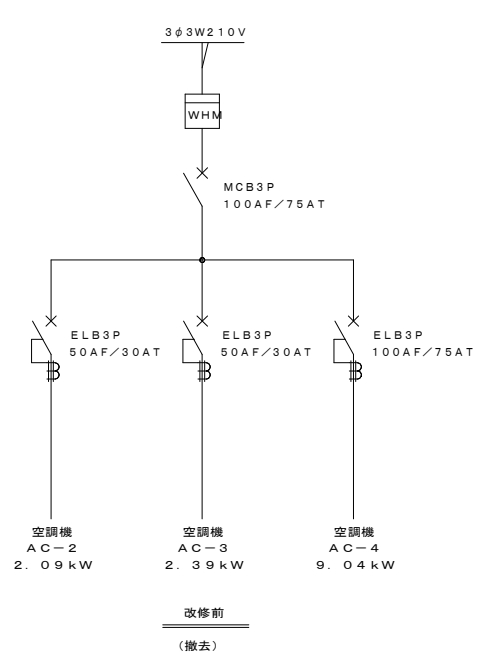
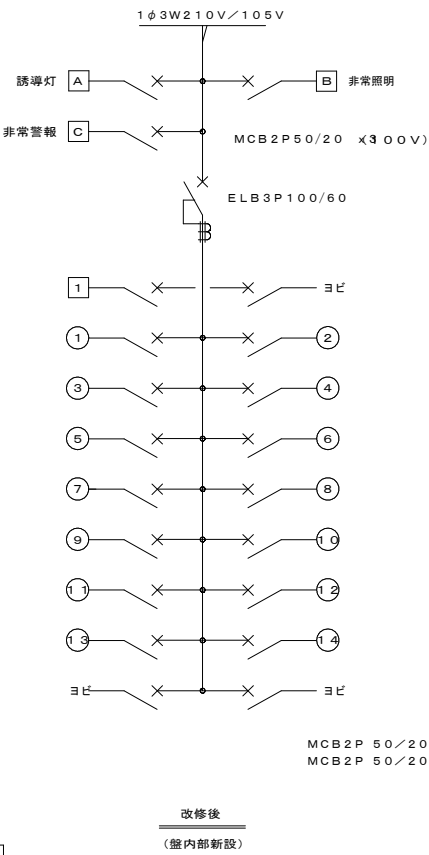
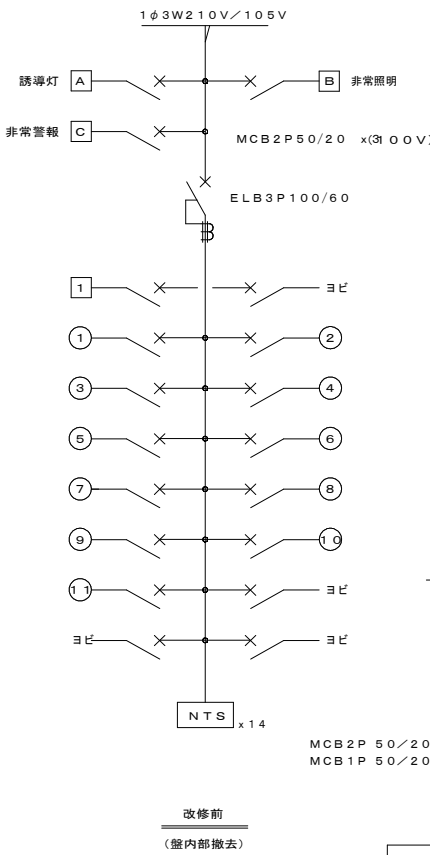
E-03

原図：A3



弱電機器姿図

	警報表示盤																												
																													
<table><tr><td>消費電力</td><td>2.5VA</td></tr><tr><td>電源電圧</td><td>AC100</td></tr><tr><td>周波数</td><td>50/60Hz</td></tr><tr><td>入出力端子</td><td>連絡端子 単芯専用C0.65~C1.6</td></tr><tr><td>警報入力</td><td>無電圧α接点 (接点間時印加電圧DC12V)</td></tr><tr><td>一括移転出力</td><td>無電圧α接点 接点容量AC250V 0.5A</td></tr><tr><td>ブザー音量</td><td>70dB (前方1m)</td></tr></table> <p>参考品番 BRN104</p>		消費電力	2.5VA	電源電圧	AC100	周波数	50/60Hz	入出力端子	連絡端子 単芯専用C0.65~C1.6	警報入力	無電圧α接点 (接点間時印加電圧DC12V)	一括移転出力	無電圧α接点 接点容量AC250V 0.5A	ブザー音量	70dB (前方1m)	<table><tr><td>電源電圧</td><td>DC12V (電源アダプタから供給)</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>電話型同時通話</td></tr><tr><td>形状</td><td>壁取付・卓上用 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr><tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr><tr><td>周数</td><td>3周用</td></tr><tr><td>備考</td><td>親子式・相互式親機</td></tr></table>		電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)	通話方式	電話型同時通話	形状	壁取付・卓上用 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	樹脂	周数	3周用	備考	親子式・相互式親機
消費電力	2.5VA																												
電源電圧	AC100																												
周波数	50/60Hz																												
入出力端子	連絡端子 単芯専用C0.65~C1.6																												
警報入力	無電圧α接点 (接点間時印加電圧DC12V)																												
一括移転出力	無電圧α接点 接点容量AC250V 0.5A																												
ブザー音量	70dB (前方1m)																												
電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)																												
通話方式	電話型同時通話																												
形状	壁取付・卓上用 (JIS1個用スイッチボックス)																												
材質	樹脂																												
周数	3周用																												
備考	親子式・相互式親機																												



空調開閉器盤 (SUS・WP)
(既設500×1000×200)

L-1
(500×950×120)

・	
・	
・	
・	

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

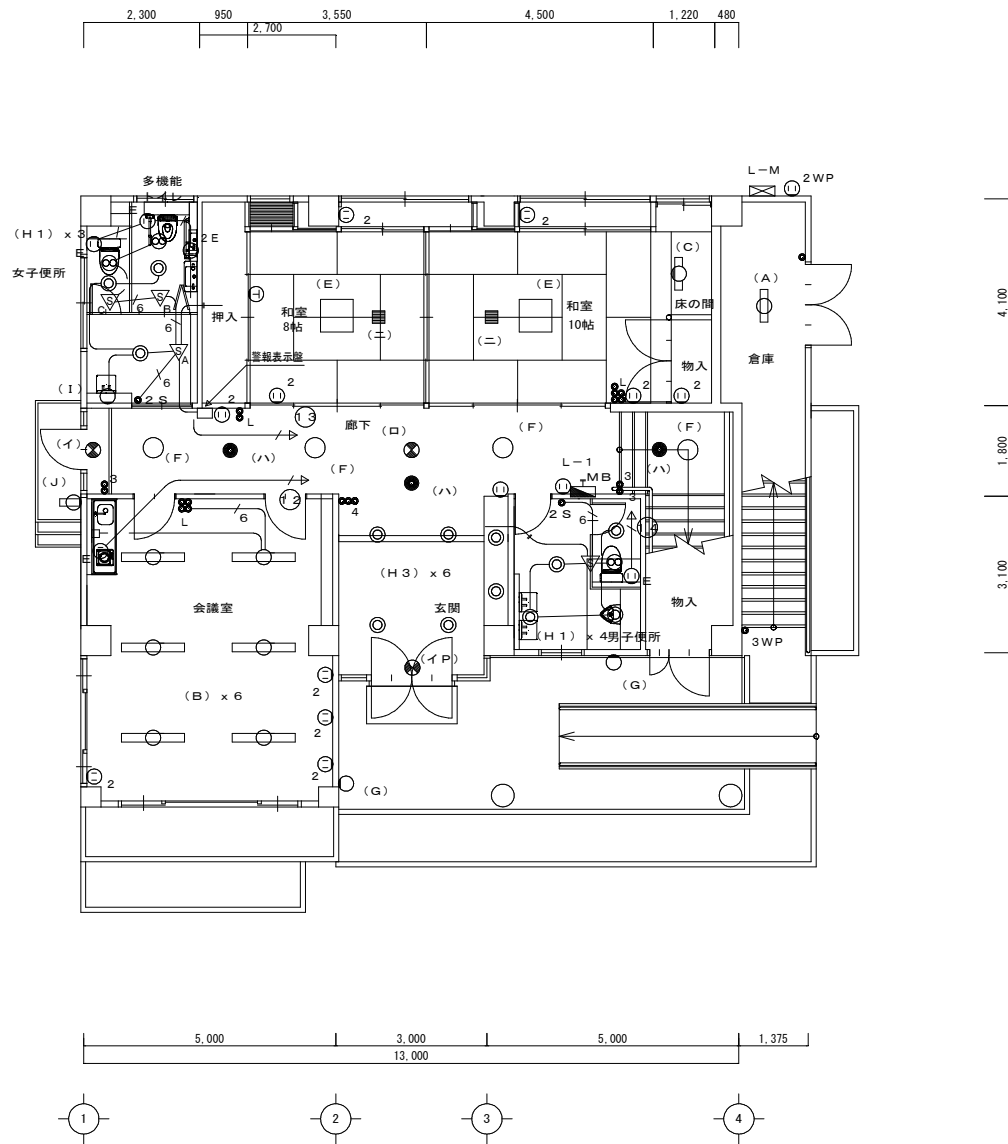
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.372093 南 賢治

SCALE	A3 : -/-
DATE	R5.3

工事名称	上古公民館長寿命化改修工事
図面名称	単結・弱電姿図

照 明 器 具 姿 図

(A)	LED直付型20形	LSS9-2-15	(B)	LED直付型40形	LSS10-4-65	(C)	LED直付型20形	800lm	(D)	LED埋込型40形	LRS20-4-48	(D1)	LED非常灯 40形	5200lm
						参考品番 パナソニック XLX200NENCLE9						参考品番 パナソニック XLG453UGNLE9 保守率：0.88 K0173513		
												器具取付高さ		
												単体配置		
												直線配置		
												四角配置		
(E)	LEDスクエアベースライト	□650 枠指定色塗装	(F)	LEDシーリングライト 40形	2325lm	(G)	ポーチライト 60形	1020lm 防湿型・防雨型	(H1)	LEDダウンライト 60形	LRS1-05	(I)	LEDブラケット	800lm
						参考品番 パナソニック LGB52654LE1						参考品番 パナソニック LGB85046LE1		
(J)	LEDウォールライト 20形	LBF3MP/RP-2-06 防湿型・防雨型	(K)	LEDスポットライト 100形	705lm	(イ)	LED B級・BL形	SH1-FBF20-BL	(ロ)	LED B級・BL形	ST1-FSF23-BL	(ハ)	LED非常灯専用型	
						(イP)	LED B級・BL形	パイプ吊り SH1-FSF20-BL	通路誘導灯両面型					
						避難口誘導灯片面型								
参考品番 パナソニック NNFB91625C 保守率：0.92 K0143780			参考品番 パナソニック LGS3000NLE1									参考品番 パナソニック NNFB91615C 保守率：0.92 K0143780		
												器具取付高さ		
												単体配置		
												直線配置		
												四角配置		
(ニ)	LED非常灯													
												注記 * 埋込型照明は必要に応じてリニューアブルプレート等を取付ること。 * 既設器具とのサイズ違いによる壁塗装補修、天井開口加工、 隙間補修等は本工事に含む。 * 照明器具形状・光束・メーカー品番は参考とし、同等品とする。 * 照明器具型番で本体型番を示すものは、LED電球・ユニットを含むこと。		
参考品番 パナソニック NNFB91625C 保守率：0.92 K0143780														
器具取付高さ														
単体配置														
直線配置														
四角配置														

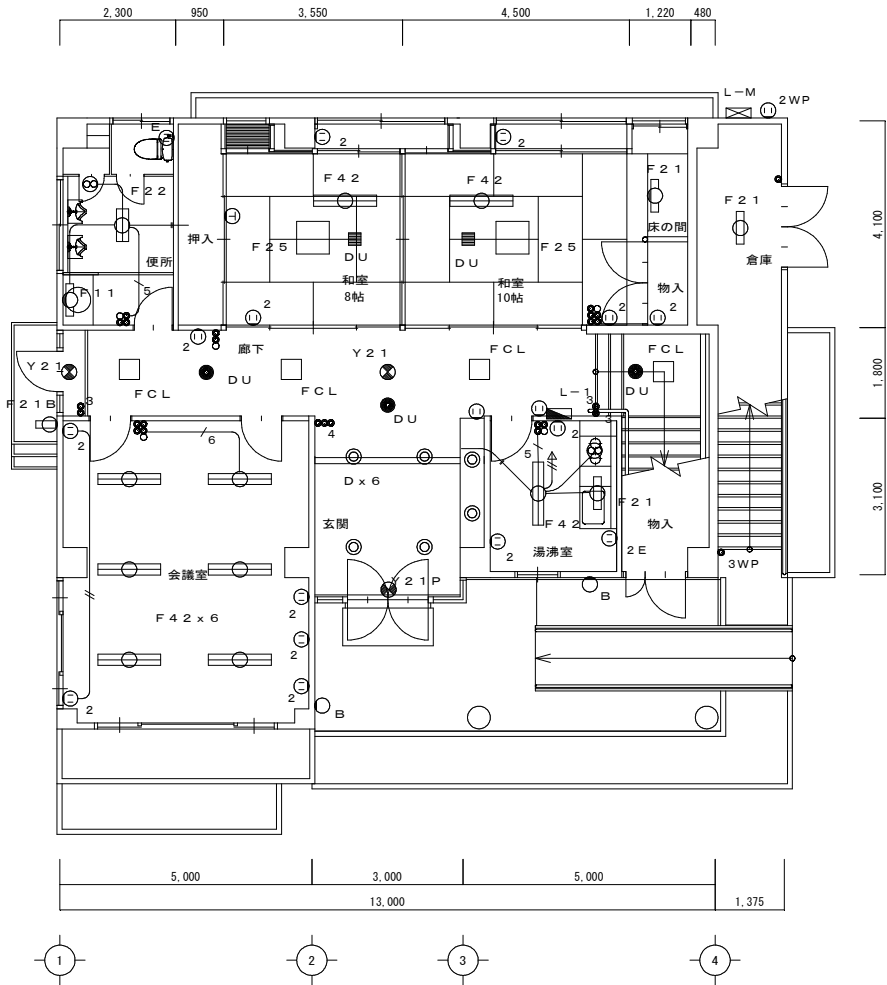


特記なき配線は下記による

—	EM-EEF1. 6-2C
—/6	EM-EEF1. 6-3C x 2
—/	EM-EEF2. 0-3C

注記

* 実線の機器、配線は新設とする。



特記なき配線は下記による

—	VVF1. 6-2C
—/5	VVF1. 6-3C+2C
—/6	VVF1. 6-3C x 2
—/	VVF2. 0-2C

注記

* 実線の機器、配線は撤去とする。

・	
・	
・	
・	

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者

一級建築士
No.352551
田端進也

設計担当者

一級建築士
No.332033
構造設計一級建築士
No.8984
井上貴智

一級建築士
No.372093
南 賢治

SCALE

A3 : 1/150

DATE

R5.3

工事名称

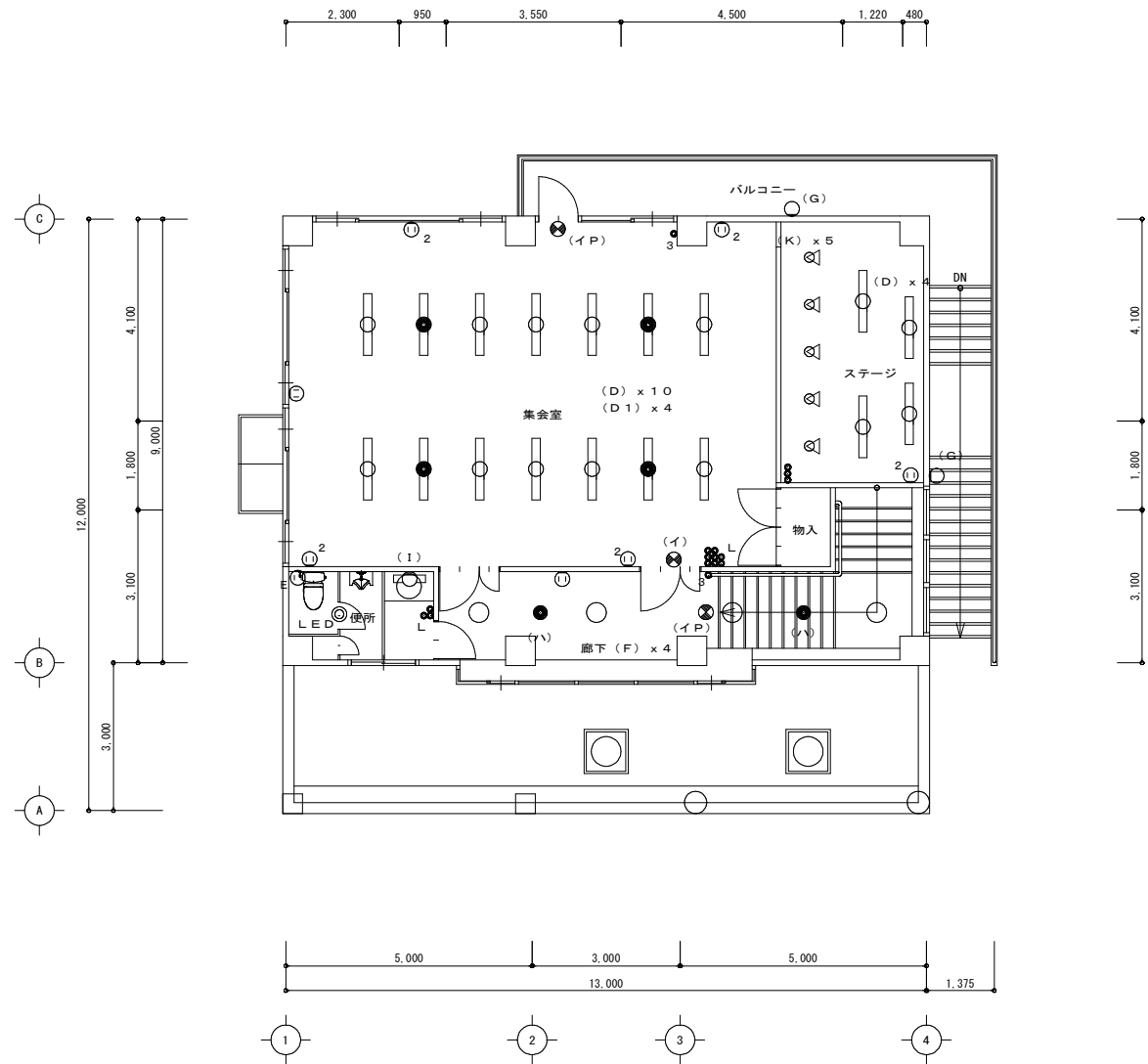
上吉公民館長寿命化改修工事

図面名称

1階 電灯設備図

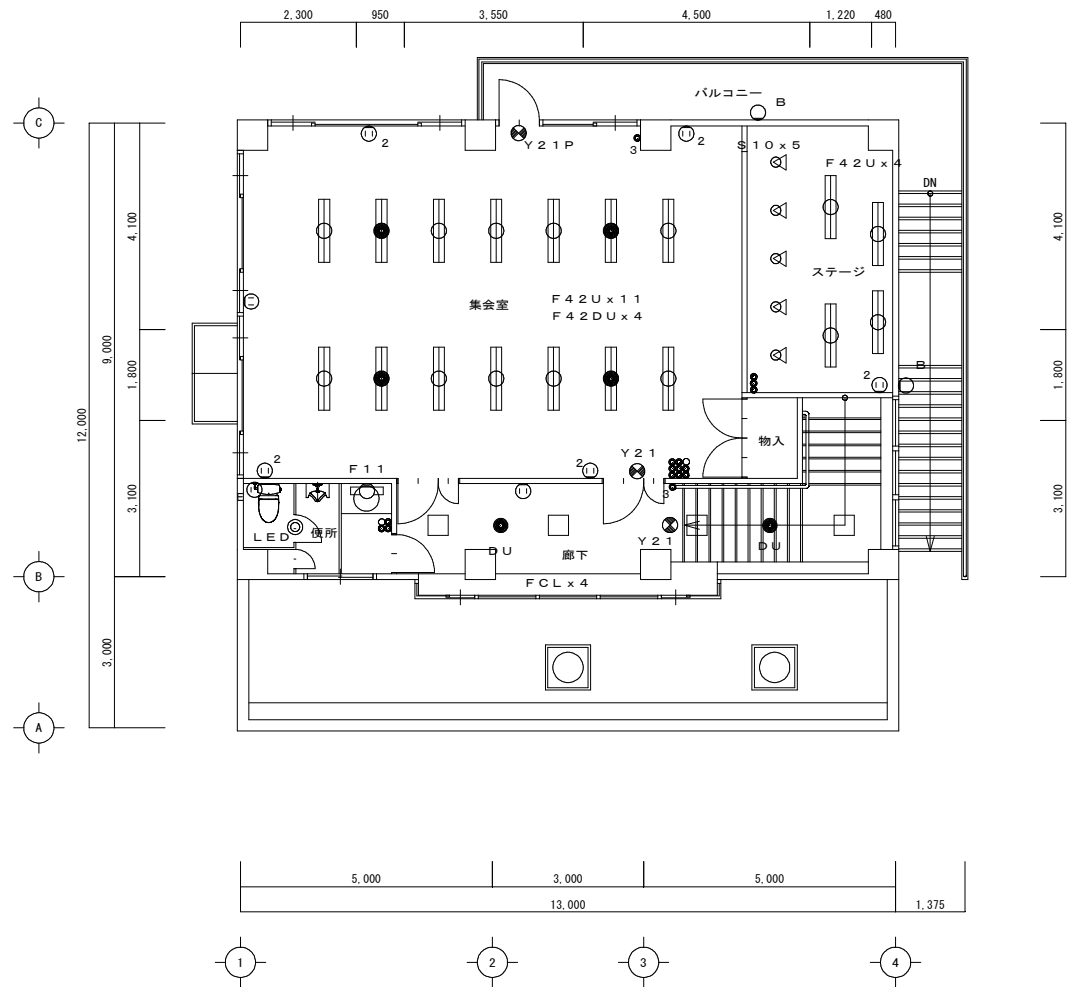
E-06

原図 : A3



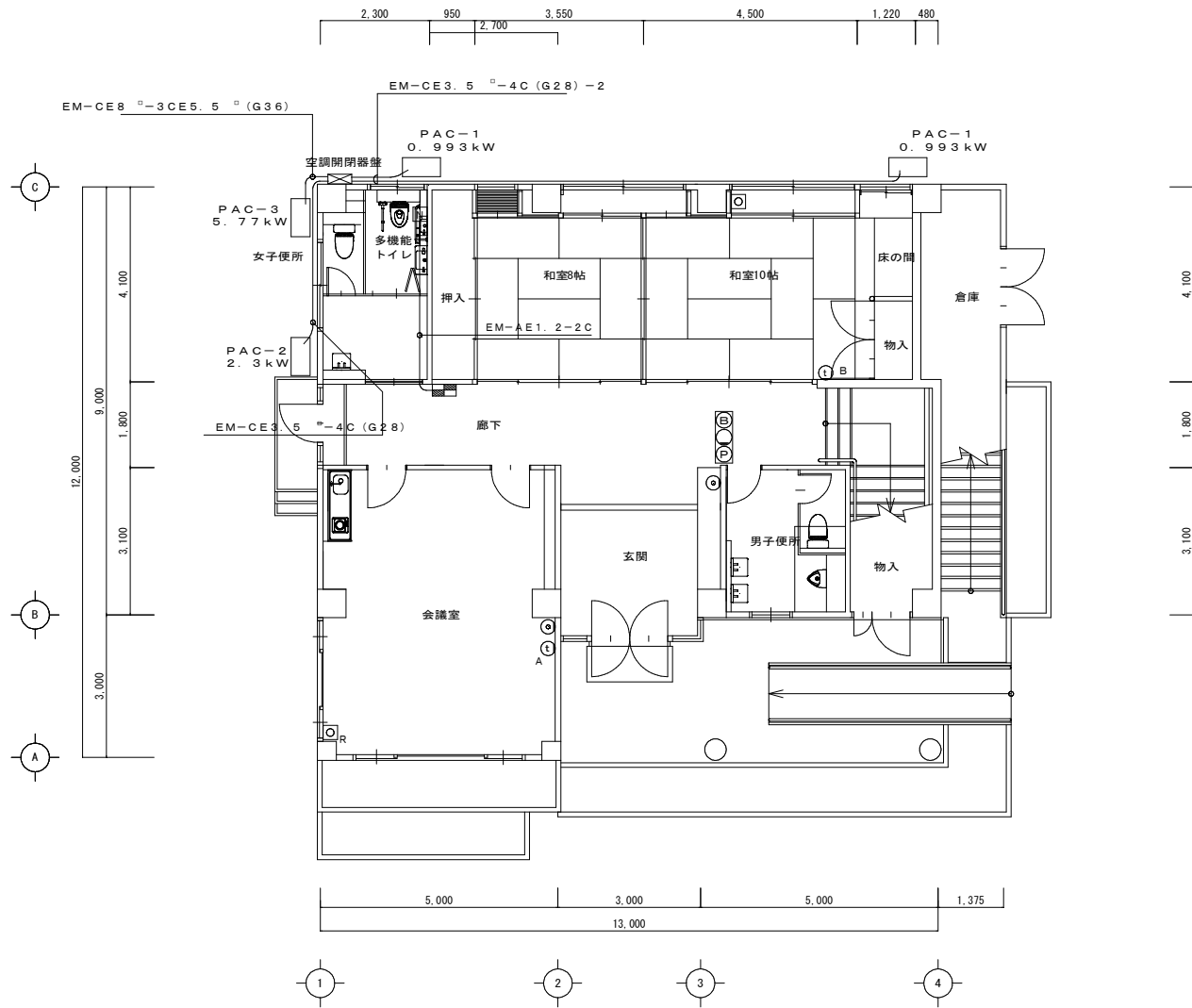
2 階平面図 S=1/150
(改修後)

注記
* 実線の機器は新設とする。



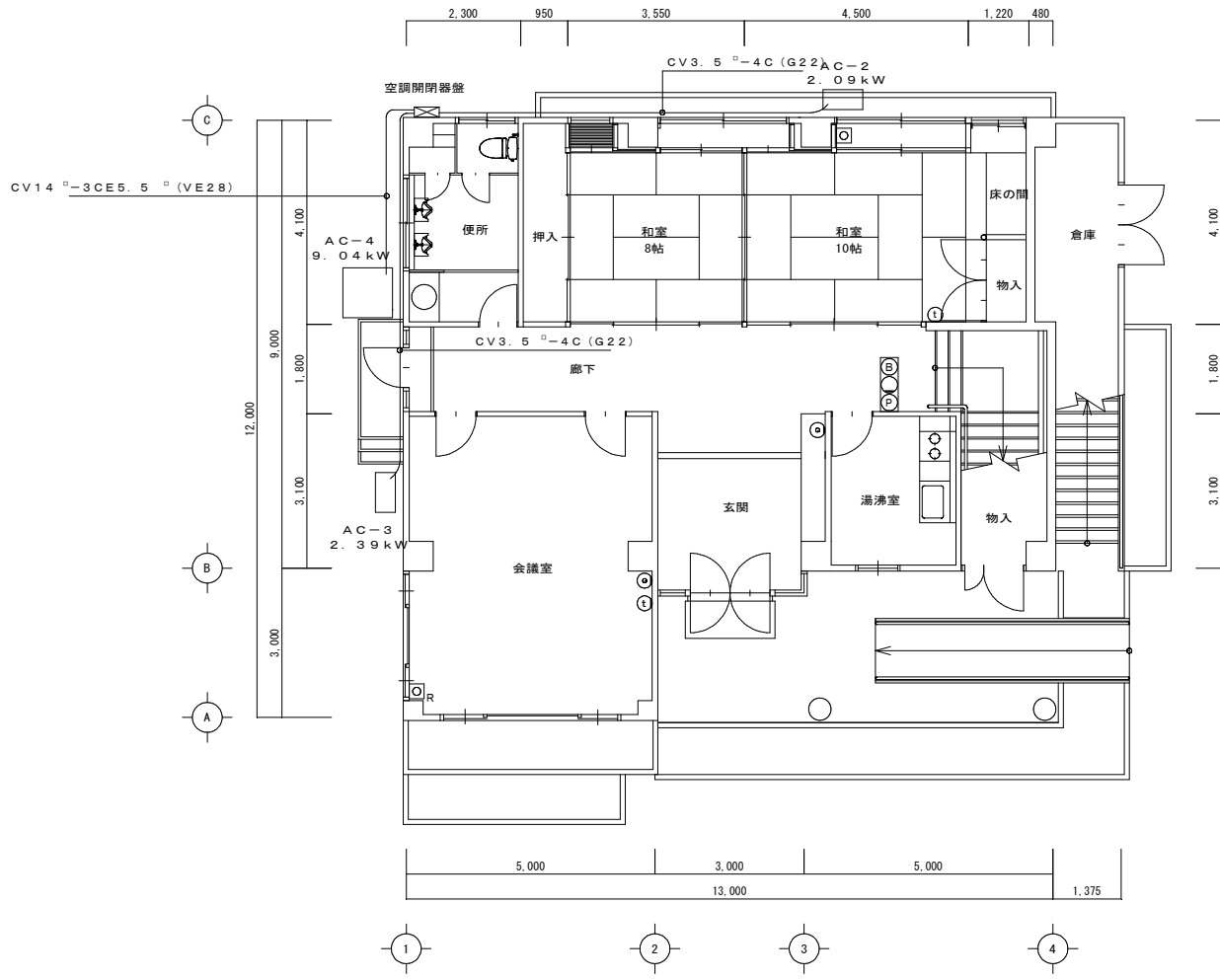
2 階平面図 S=1/150
(改修前)

注記
* 実線の機器は撤去とする。



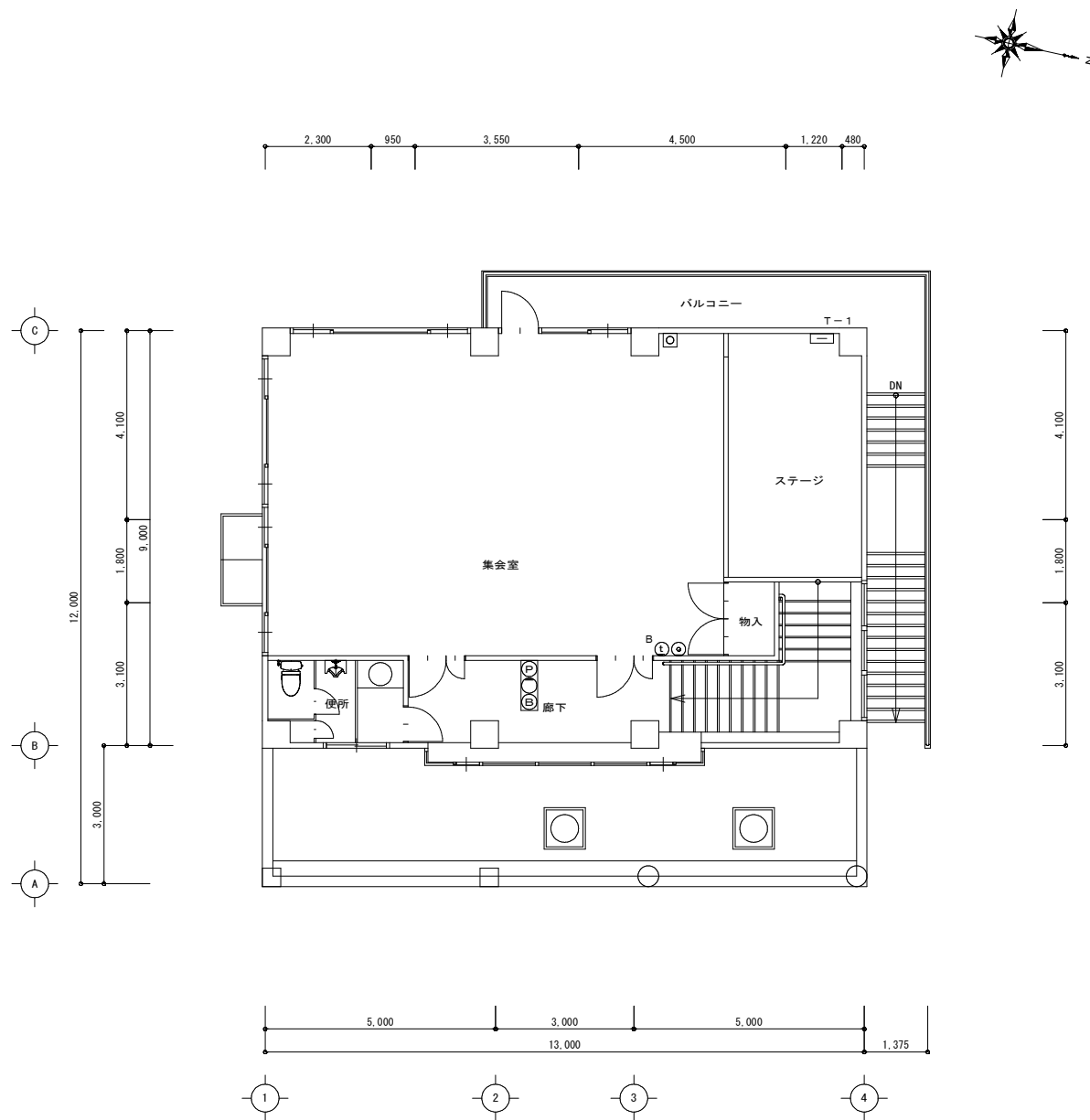
1 階平面図 S=1/150
(改修後)

注記
* 実線の機器、配線は新設とする。



1 階平面図 S=1/150
(改修前)

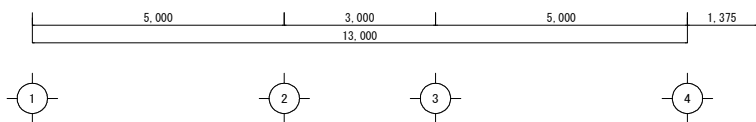
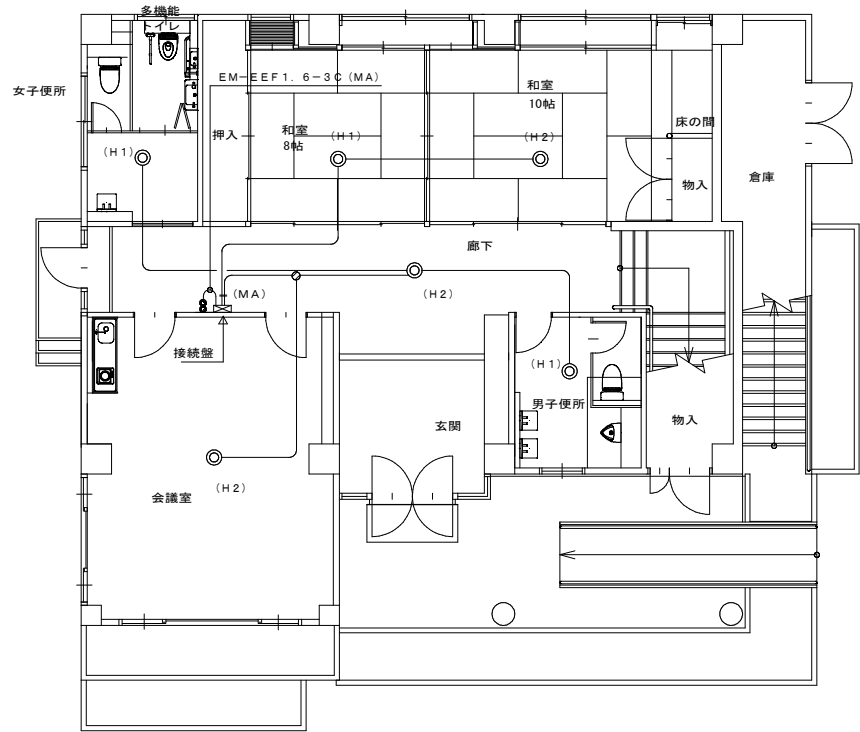
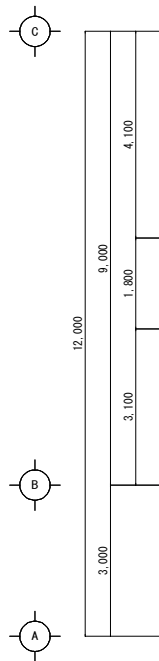
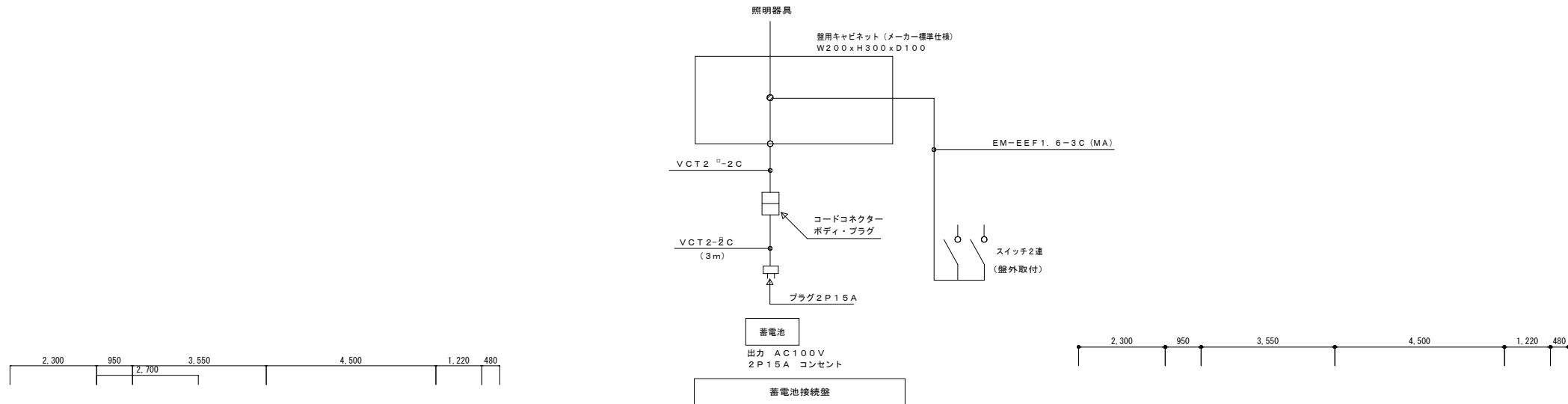
注記
* 実線の機器は撤去とする。



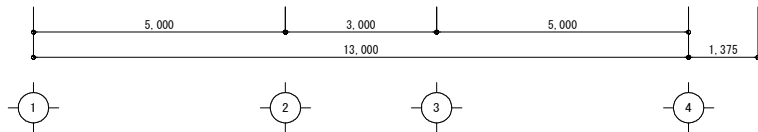
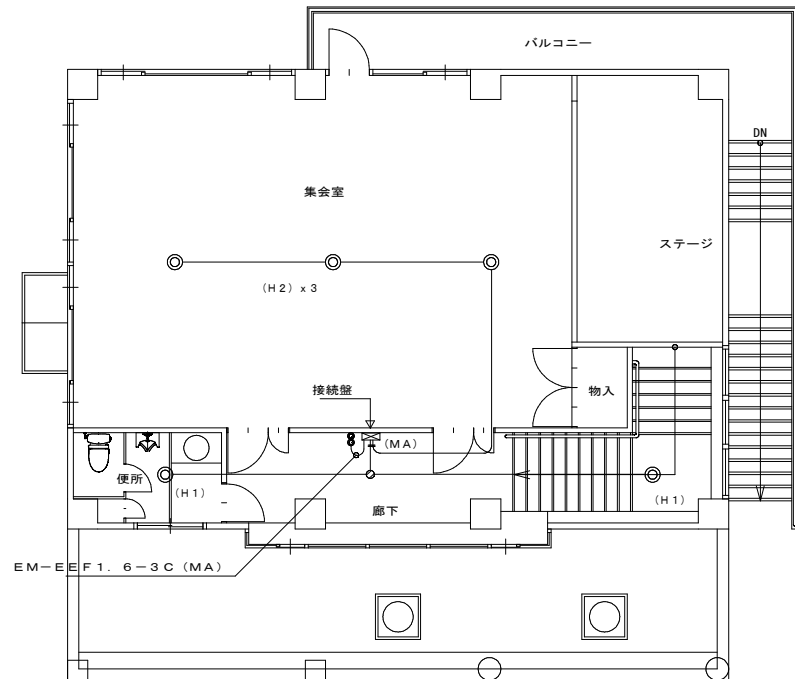
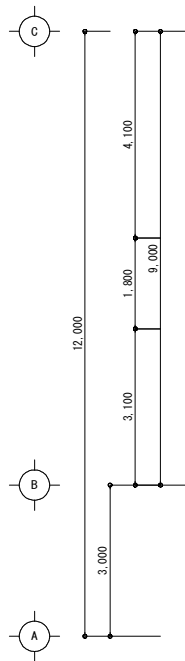
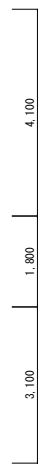
2階平面図 S=1/150

注記
* 実線の機器は更新とする。

照明器具撤去リスト			1 F	2 F
	F 1 1	F L 1 0 W x 1	1	1
	F 2 1	F L 2 0 W x 1	3	
	F 2 2	F L 2 0 W x 2	1	
	F 4 2	F L 4 0 W x 2	9	
	F 2 1 B	F L 2 0 W x 1 ブラケット	1	
	F C L	F L 2 0 W x 2	4	4
	F 4 2 U	F L 4 0 W x 2 埋込		1 5
	F 4 2 D U	F L 4 0 W x 2 バッテリー内蔵・埋込		4
	F 2 5	F L 2 0 W x 5	2	
	D U	1 L バッテリー内蔵・埋込	5	2
	D	ダウンライト	6	
	B	1 L ブラケット	2	2
	Y 2 1	F L 2 0 W x 1 誘導灯	2	2
	Y 2 1 P	F L 2 0 W x 1 誘導灯 バイブ吊り	1	1
	S 1 0	1 L スポットライト		5



1 階平面図 S=1/150



2 階平面図 S=1/150

特記なき配線は下記による

—	EM-EEF1. 6-2C
↑(MA)	壁面露出メタルモール (A型)